

分野	ため池の補強等		事業番号	3	事業名	県営ため池等整備 (土地改良施設耐震対策)	
市町村名	飯田市・松川町・高森町	ふりがな 箇所名	りょうさい 竜西2期		事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~ H31 年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	サイホン耐震補強工 6箇所L=2,517m 水路橋耐震補強工 2箇所L=85m				23年度末事業進捗率	0 %
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0 %
	H24年度実施内容	ゲート補修工 1箇所				用地補償費ベース	0 %
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残	
	事業費計(千円)	3,000,000	0	0	38,000	3,000,000	
財源内訳	国庫支出金	1,500,000	0	0	19,000	1,500,000	
	その他	540,000	0	0	6,840	540,000	
	県債	864,000	0	0	10,000	864,000	
	一般財源	96,000	0	0	2,160	96,000	
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			ランク	評点
	必要性 (20)	保全対象人家戸数	10戸以上	1~9戸	0戸	A	15
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		5
		小計					20
	重要性 (15)	水利施設としての依存度	依存度 大	依存度 中	依存度 小	A	7
		かんがい(排水)受益	100ha以上	40ha以上100ha未満	40ha未満		5
		防災計画上の位置づけ	位置付けあり	位置付けなし			3
	小計					15	
	効率性 (10)	防災効果(B/C)	1.2以上	1.1以上1.2未満	1.0以上1.1未満	A	4
		早期発現度(効果発現まで)	5年以内	6年以上10年未満	10年以上		2
		ローカスタンダード(L.S.)計画及びコスト縮減及び代替案検討等	(様式4)3項目以上該当	(様式4)2項目該当	(様式4)1項目該当		3
	小計					9	
	緊急性 (35)	施設への影響	影響が明白	影響が推定される	影響の兆候がある	A	10
		周辺へ与える影響	影響が明白	影響が推定される	影響の兆候がある		10
		過去の被災履歴	5年以内に複数回	5年以内に1回	左記以外に被災有		10
応急対策の実施状況		応急対策実施中	過去に実施済み	応急対策未実施	5		
小計					35		
計画 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	5	
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない		3	
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない		5	
小計					13		
費用対効果(B/C)	3.26	評価の合計			A	92	
事業周知環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	竜西一貫水路は天竜川から取水し777haをかんがいする用水路で、延長23.9km、最大取水量5.14m <sup>3</sup> /sである。S25~43年に築造され、40年から60年近く経過し、至るところで漏水、陥没事故等が発生している。本地域は東海地震に係る防災対策強化地域に指定され、また伊那谷断層帯(確定活断層・確実度)が近くに位置しており、大規模地震発生時の被害が懸念されている。本施設直上部及び下流部には人家、主要道路、公共施設が存在することから、早期に耐震対策を行う必要がある。					
	地域からの要望経緯	近年漏水事故が多発しており、改良区から改修要望が出された。関係市町は本施設を地域の重要な社会資本として捉えており事業の必要性や予算措置について合意している。地域住民に対する説明会において安全な施設への早期改修を要望されている。					
	事業説明等の経緯	平成13年より改修を検討しており、組合員には「竜西一貫水路だより」で水路の現状、改修内容について周知してきており、現在各地区毎に事業内容の説明会を開催している。H20.3には改良区総代会で県営事業として事業申請することについて承認を得ている。H20.1に地域住民に対して2回説明会を実施し、早期改修を要望された。また改良区のホームページに改修計画について掲載し、地域住民へ広く周知している。					
	環境・景観への配慮項目	既設構造物の補修工法であり、基本的には環境への負荷は少ない工事を実施する。資材搬入に伴う振動騒音が予測されるが、住民への説明会の開催、過積載防止、安全運転の徹底を図る。準絶滅危惧種のキマヅクの繁殖地があるため、工事用道路の開設にあたり繁殖地は回避又は移植により影響の軽減を図る。					
	他事業・プロジェクトとの関連	一部の集落では農地・水・環境保全向上対策事業により、水路等の維持管理に取り組んでいる。再生可能エネルギー検討会で小水力発電の検討を行っている。					
特記事項	本施設は長野県地域防災計画(土砂崩壊危険箇所)に位置づけられている。また震災対策緊急輸送路に位置付けられている国道151号線や災害時の応急避難施設に指定されている公共施設の直下や上流部に位置している。消防水利用として位置付けられており、各自治会へ水路のPRや消防団による放水訓練を行うなど、地域住民へ農業用水や多面的機能について周知を図っている。						
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他		
部意見	東海地震に係る防災対策強化地域に指定されており、施設が大規模地震等で被災した場合に周辺地域に大きな被害を及ぼす恐れがあるため、必要性、重要性、緊急性が高い。		政策評価課見	必要性、重要性、緊急性が高い。			